

報道機関 各位

宮城県森林組合連合会

## 登米市での木造災害公営住宅建設事業について

宮城県森林組合連合会（代表理事会長 齋藤 司 宮城県仙台市青葉区上杉 2 丁目 4-46）は、平成 25 年 2 月に地元の登米町森林組合および建設業者等と共同で登米市木造災害公営住宅建設推進協議会を設立し、現在、登米市迫町佐沼地区において 32 戸の木造災害公営住宅建設に取り組んでいます。

今回の取組みは、東日本大震災により甚大な被害を受けた被災者の円滑な生活再建に資するため、地元の木材と技術を結集して木造の災害公営住宅の建設にあたることを目的としており、同様の取組みは隣接する南三陸町および宮城県南部の亘理町でも実施する予定です。

また、本取組みについては、被災地の復興を支援する農林中央金庫にご協力いただきおり、登米市での住宅建設資金については、農林中央金庫が被災地の復興支援を目的に創設した低利融資制度（東北農林水産業応援ローン）を活用することとしております。

今後も、宮城県・登米市や地域の方々のご支援・ご協力を頂きながら、被災者の皆様の生活再建と地元産材の需要拡大を目指し、事業に取り組んでまいります。

### 【本件概要】

事業名：登米市迫町佐沼地区木造災害公営住宅建設事業（32 戸）  
（平屋 2LDK 58 m<sup>2</sup> 14 戸，2 階建て 3LDK 18 戸 81 m<sup>2</sup>）

整備手法：協議会が建設し、登米市が買取り

建設予定地：宮城県登米市迫町佐沼地区



以上